

若い力と切り拓く日本とアフリカの未来

アフリカビジネスセミナー 環境配慮型ビジネスの新潮流

横浜市国際局では、TICAD9開催を契機に環境配慮型ビジネスでアフリカの課題解決に貢献する企業の取組事例をご紹介します。アフリカ進出に関心を持つ企業の皆さま、是非ご参加ください。

日時

2025 **7.31(木)**
14:30～16:30

問合せ先

横浜市国際局グローバルネットワーク推進課
【e-mail】 ki-ticad@city.yokohama.lg.jp

会場

TECH HUB YOKOHAMA

(横浜市西区みなとみらい2丁目2-1)

みなとみらい線 みなとみらい駅 徒歩6分

JR線・横浜市営地下鉄 桜木町駅 徒歩7分

申込方法

横浜市電子申請・届出システム
よりお申し込みください。

定員**60**名(オンライン**100**名)



申込はこちら！

プログラム

講演

アフリカとの経済・ビジネス関係強化に向けて
経済産業省 通商政策局 アフリカ室 室長 加藤健治

事例紹介

- ① (仮)廃棄物から派生の土地改良剤をアフリカへ展開するTOKYO8の秘密
株式会社 太陽油化 代表取締役社長 石田太平
- ② 自律分散型信号制御で交通渋滞抑制に貢献
株式会社 京三製作所 営業部 サブマネージャー 篁百恵
- ③ アフリカにおける分散型グリーンアンモニア・肥料の地産地消に向けて
つばめBHB株式会社 事業開発部門 須田裕美
- ④ アフリカでのアップサイクルと教育支援の挑戦
株式会社 こたつ 代表取締役 坂田ミギー

情報提供

アフリカにおけるビジネス最新状況
株式会社 アクセルアフリカ 代表取締役 横山裕司

パネルディスカッション

アフリカ×循環経済×グリーンエネルギー
モデレーター：JETRO企画部審議役／アフリカビジネス協議会 事務局長 佐藤隆正

※アフリカ進出にご関心のある企業の皆さまを参加対象とさせていただきます。

主催 横浜市国際局 後援 アフリカビジネス協議会 (JBCA)

協力 一般社団法人YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE、JETRO横浜



登壇者プロフィール（敬称略）

加藤 健治（経済産業省 通商政策局 アフリカ室 室長）

2025年3月から現職。直近では、日本企業とアフリカで活躍するスタートアップとの連携強化にかかる枠組みの立ち上げ等に取り組む。

石田 太平（株式会社太陽油化 代表取締役社長）



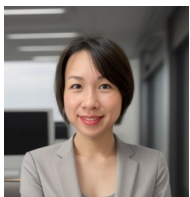
株式会社太陽油化ほか、複数企業を束ねるソルテラグループの代表を務める。独自の微生物技術やノウハウを活用し、安価かつ生産性の高い農業を普及させること等により、アフリカやアジアなどの開発途上国の環境や社会問題の解決に貢献している。

篁 百恵（株式会社京三製作所）



株式会社京三製作所 交通機器事業部 営業部サブマネジャー。交通信号システムのグローバル展開を担当しており、最近ではバングラデシュとケニアの JICA 交通信号システムに関わるプロジェクトに携わり、先進的な交通管理技術を通じて都市の安全かつ効率的なモビリティの向上に貢献している。

須田 裕美（つばめBHB株式会社）



つばめBHB株式会社で事業開発を担当。東京科学大学で生まれた革新的なアンモニア合成技術を社会実装するために設立されたスタートアップ。分散型のアンモニア製造プラントを開発し、アンモニアや肥料製造がなく輸入依存するアフリカ市場で、現地で得られる再エネ・水・空気からCO₂を排出しないグリーンなアンモニア・肥料の地産地消モデルの構築を目指している。

坂田 ミギー（株式会社こたつ 代表取締役）



アフリカの孤児・貧困児童と女性へのサポートを目的としたエンカルファッションブランド「SHIFT 80」を立ち上げる。同ブランドを運営する同社は、日本政府（外務省）が推進する「TICAD9共創企業」に認定されている。

横山 裕司（株式会社アクセルアフリカ 代表取締役）



アフリカと日本を繋ぎ、社会課題解決型ビジネスの共創を目指す起業家であり、アフリカ進出コンサルティングのほか、ケニアでの人材育成事業などに携わっている。

佐藤 隆正（JETRO企画部審議役／アフリカビジネス協議会事務局長）



1983年JETRO入会。1991年JETROドアラ（カメルーン）事務所長、以降、日本貿易保険広報グループ長、日欧産業協力センター欧州事務所（ブリュッセル）日本側代表、ジェトロパリ次長（北アフリカ担当）を経て、2017年より2年間、在ストラスブール総領事、欧州評議会オブザーバー大使を務める。2023年7月よりアフリカビジネス協議会事務局長に就任。